

# 在宅高齢者の個別支援における特別養護老人ホームの 役割と課題に関する基礎的研究

## Fundamental Research on the Role and Problems Regarding Individual Support of Housebound Seniors

藤島 法仁

### I. 研究の目的

高齢化率 30.5%、後期高齢者の人口割合が 18.2%となる 2025 年を見据え、現在、国は、地域包括ケアシステムづくりを推進している。厚生労働省は地域包括ケアシステムを「高齢者が尊厳を保ちながら重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう住まい、医療、介護、予防、生活支援を日常生活の場で一体的に提供する地域の体制」と定義し、医療との連携、介護サービスの充実、予防の推進、生活支援サービスの推進、バリアフリーの高齢者住まいの整備といった 5 つの取り組みを包括的・継続的に行う必要性を指摘している。

また、これらの取り組みを充実していくために地域ケア会議の推進と互助の活用を提起している。地域ケア会議は市町村または地域包括支援センターの主催により多職種の視点でアセスメントやケア方針の検討を行う場で、個別課題の解決、ネットワークの構築、地域課題の発見、地域づくり・資源開発、政策形成という 5 つの機能を求めている。また、互助とはインフォーマルな相互扶助（近隣の助け合いやボランティアなど）であり、地域のさまざまな主体（ボランティア、NPO、社会福祉法人、企業、自治会、老人クラブなど）が地域の力で高齢者を支えていく取り組みを指す。高齢者福祉は地域ケア会議を中心に互助も組み込みながら地域で高齢者を支える仕組みづくりへと転換している。

このような情勢において、高齢者福祉施設も地域包括ケアシステムの形成に一定の役割を果たすことが期待されている。高齢者福祉施設は地域包括ケアシステムの中心的課題である在宅高齢者の個別支援の充実に向けて地域とどのように関わっているのだろうか。本研究では、長崎県の高齢者福祉施設を事例に、とりわけ特別養護老人ホーム（以下、特養）に焦点をあて、第 1 に、特養の個別支援充実に向けた取り組みと連携による効果の実態を整理する。第 2 に、これらの実態と圏域の特性（高齢者の状況、医療サービスの状況、介護サービスの状況）をクロスさせ圏域ごとの課題を抽出する。システムにおける特養の役割を検討する上で基盤となるこれらの実態を整理することが本研究の目的である。なお、本研究は全国老人福祉施設協議会の助成を受け、長崎短期大学、長崎県老人福祉施設協議会、長崎県社会福祉協議会の共同により行った。

### II. 研究の方法

#### 1. 調査地の概要

長崎県（22.4%）は第 1 号被保険者に占める介護保険認定者の割合が全国（17.9%）で最も高く、

第1号被保険者1000人あたりの居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービスの受給者数、介護給付・予防給付費が全国と比較して多い介護保険サービスの利用が活発な地域である。

表1 長崎県の介護保険の利用状況

	認定率	第1号被保険者1000人あたり居宅（介護予防）サービス受給者数	第1号被保険者1000人あたり地域密着型サービス受給者数	第1号被保険者1000人あたり施設サービス受給者数	第1号被保険者1人あたり介護給付・予防給付費総数（千円）
全国	17.9%	111.3	11.2	15.3	11.9
長崎県	22.4%	135.4	20.7	16.0	12.9

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（平成25年12月分）より作成。

また、図1は長崎県の行政圏域を示すが、長崎県は長崎（長崎市、西海市、長与町、時津町）、佐世保（佐世保市）、県北（平戸市、松浦市、佐々町）、県央（諫早市、大村市、東彼杵町、川棚町、波佐見町）、県南（島原市、雲仙市、南島原市）という5つの本土圏域と、五島（五島市）、上五島（新上五島町、小値賀町）、対馬（対馬市）という4つの離島圏域、計9つの行政圏域から構成されている。



資料：『長崎県医療計画（平成25年3月策定版）』より引用。

図1 長崎県の圏域

## 2. 調査の方法

在宅高齢者の個別支援における特養の役割と課題について質問紙調査を実施した。質問紙は長崎県老人福祉施設協議会に加盟する103の特別養護老人ホームに送付、75の施設から回答を得た（回収率72.8%）。

質問紙の項目は長崎県老人福祉施設協議会における地域包括ケアシステム検討ワーキング会議の12人のメンバー（各圏域における施設代表。筆者を含む）によって作成した。在宅高齢者の個別支援の充実に向けた取り組みについて、①施設行事の地域開放、②講座の開催、講師の派遣を通じた地域への情報提供、③予防活動の実施や協力、④ネットワーク活動への参加や協力、⑤サロン活動への参加、⑥配食サービスの実施や協力、⑦ニーズ把握に向けた自治会や民生委員との協力、⑧家族の集いの会などへの協力、⑨法人内での地域ケア推進に関わる協議、⑩地域福祉（活動）計画策定における地域ニーズの提言、を項目として4件法で尋ねた。

地域、行政、民間と連携することによる施設にとっての効果について、①地域と連携することにより要介護者の地域での生活を継続的に支援できている、②地域と連携することにより潜在している地域ニーズの把握ができています、③行政と連携することにより地域高齢者の状況や課題を確認できている、④行政と連携することにより困難事例について早目の対応や協力ができている、⑤民間と連携することにより地域高齢者の情報共有ができています、⑥民間と連携することにより利用者に合った適切なサービスを提供できている、を4件法で尋ねた。

また、施設が地域、行政、民間と連携することによる地域・地域高齢者にとっての効果について、①地域と連携することにより引きこもりの防止につながっている、②地域と連携することにより安否確認につながっている、③地域と連携することにより介護予防につながっている、④行政と連携することにより社会参加が広がっている、⑤行政と連携することにより早期の問題解決が期待できる、⑥民間と連携することにより生活圏域での生活が継続できている、⑦民間と連携することにより利用者に合ったサービスを受けることができています、を4件法で尋ねた。

なお、実際の質問紙調査ではこれらの他、予防活動、見守り活動、制度外サービス（見守り、配食、買い物などの生活支援サービス）、ニーズ把握、看取りの現状と課題、地域ケア会議の参加状況、属性について尋ねている。

### Ⅲ. 調査の結果

#### 1. 個別支援充実に向けた取り組みと連携に対する評価

##### (1) 在宅高齢者の個別支援の充実に向けた取り組みに対する評価

表2は個別支援の充実に向けた①～⑩の取り組みについて「積極的に行っている」4点、「やや積極的に行っている」3点、「あまり積極的に行っていない」2点、「ほとんど行っていない」1点と得点化したものである。なお、壱岐圏域については特養の回答がなかったためここでは割愛する。

表2 在宅高齢者の個別支援の充実に向けた取り組みに対する評価

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
施設行事の地域開放	2.97	3.17	3.17	2.78	2.75	2.50	3.00	3.67	2.33
講座の開催、講師の派遣を通じた地域への情報提供	2.38	2.44	2.92	2.00	2.38	1.88	2.60	2.67	1.67
予防活動の実施や協力	2.26	2.32	2.54	1.89	2.13	2.00	2.80	2.33	1.67
ネットワーク活動への参加や協力	1.97	2.36	2.00	1.67	1.63	1.50	2.00	2.00	1.67
サロンなどへの参加	1.79	2.20	1.54	1.67	1.88	1.38	1.50	2.00	1.00
配食サービスの実施や協力	1.82	1.96	1.69	1.56	2.00	1.25	3.00	1.00	2.00
ニーズ把握に向けた自治会や民生委員などとの協力	2.57	2.80	2.85	2.22	2.38	2.00	2.80	3.00	1.67

家族の集いの会などへの協力	1.79	1.80	2.00	1.89	1.88	1.63	2.00	1.00	1.33
法人内での地域ケア推進に関わる協議の実施	2.13	2.28	2.17	1.89	2.50	1.63	2.50	1.67	1.67
地域福祉（活動）計画策定における地域ニーズの提言	1.81	1.52	2.08	2.13	2.50	1.43	1.80	2.00	1.00

## ①施設行事の地域開放

施設行事の地域開放について、約7割（70.8%）が「積極的」（「積極的に行っている」と「やや積極的に行っている」の合計、以下同じ）に行っている。圏域ごとに上五島、長崎、佐世保は活発である（表2の結果による、以下同じ）。

表3 施設行事の地域開放

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
積極的に行っている	33.3%	37.5%	33.3%	11.1%	50.0%	12.5%	60.0%	66.7%	0.0%
やや積極的に行っている	37.5%	41.7%	50.0%	55.6%	0.0%	50.0%	0.0%	33.3%	33.3%
あまり積極的に行っていない	22.2%	20.8%	16.7%	33.3%	25.0%	12.5%	20.0%	0.0%	66.7%
ほとんど行っていない	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	20.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ②社会福祉や介護実践に関する講座の開催、講師の派遣を通じた地域への情報提供

地域への情報提供について、約4割（43.8%）が「積極的」に行っている。圏域ごとに佐世保、上五島、五島は活発である。

表4 社会福祉や介護実践に関する講座の開催、講師の派遣を通じた地域への情報提供

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
積極的に行っている	23.3%	24.0%	41.7%	11.1%	25.0%	12.5%	20.0%	33.3%	0.0%
やや積極的に行っている	20.5%	28.0%	16.7%	11.1%	25.0%	12.5%	40.0%	0.0%	0.0%
あまり積極的に行っていない	27.4%	16.0%	33.3%	44.4%	12.5%	25.0%	20.0%	66.7%	66.7%
ほとんど行っていない	28.8%	32.0%	8.3%	33.3%	37.5%	50.0%	20.0%	0.0%	33.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ③在宅高齢者が要介護状態に陥らないための予防活動の実施や協力

予防活動の実施や協力について、約4割（43.2%）が「積極的」に行っている。圏域ごとに五島、佐世保、上五島は活発である。

表5 在宅高齢者が要介護状態に陥らないための予防活動の実施や協力

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
積極的に行っている	16.2%	20.0%	23.1%	0.0%	12.5%	12.5%	40.0%	0.0%	0.0%
やや積極的に行っている	27.0%	24.0%	38.5%	22.2%	25.0%	25.0%	20.0%	66.7%	0.0%
あまり積極的に行っていない	23.0%	24.0%	7.7%	44.4%	25.0%	12.5%	20.0%	0.0%	66.7%
ほとんど行っていない	33.8%	32.0%	30.8%	33.3%	37.5%	50.0%	20.0%	33.3%	33.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④高齢者などに対する見守りネットワーク活動への参加や協力

ネットワーク活動への参加や協力について、約3割（26.1%）が「積極的」に行っている。圏域ごとに長崎、佐世保、五島、上五島は活発である。

表6 高齢者などに対する見守りネットワーク活動への参加や協力

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
積極的に行っている	15.1%	28.0%	23.1%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
やや積極的に行っている	11.0%	16.0%	7.7%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	33.3%	0.0%
あまり積極的に行っていない	30.1%	20.0%	15.4%	66.7%	37.5%	12.5%	50.0%	33.3%	66.7%
ほとんど行っていない	43.8%	36.0%	53.8%	33.3%	50.0%	75.0%	25.0%	33.3%	33.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤いきいきサロン、ミニデイ、独居老人食事会などへの参加や協力

いきいきサロンなどへの参加や協力について、約2割（19.1%）が「積極的」に行っている。圏域ごとに長崎、上五島、県央は活発である。

表7 いきいきサロン、ミニデイ、独居老人食事会などへの参加や協力

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
積極的に行っている	12.3%	28.0%	7.7%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
やや積極的に行っている	6.8%	4.0%	0.0%	11.1%	12.5%	12.5%	0.0%	33.3%	0.0%
あまり積極的に行っていない	28.8%	28.0%	30.8%	44.4%	25.0%	12.5%	50.0%	33.3%	0.0%
ほとんど行っていない	52.1%	40.0%	61.5%	44.4%	50.0%	75.0%	50.0%	33.3%	100.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑥配食サービスの実施や協力

配食サービスの実施や協力について、約3割（27.1%）が「積極的」に行っている。圏域ごとに五島、県央、対馬は活発である。

表8 配食サービスの実施や協力

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
積極的に行っている	20.3%	28.0%	7.7%	11.1%	25.0%	0.0%	60.0%	0.0%	33.3%
やや積極的に行っている	6.8%	4.0%	15.4%	11.1%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
あまり積極的に行っていない	8.1%	4.0%	15.4%	0.0%	0.0%	25.0%	20.0%	0.0%	0.0%
ほとんど行っていない	64.9%	64.0%	61.5%	77.8%	62.5%	75.0%	20.0%	100.0%	66.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦在宅高齢者のニーズ把握に向けた自治会や民生委員などとの連携

ニーズ把握に向けた自治会や民生委員などとの連携について、約5割（51.3%）が「積極的」に行っている。圏域ごとに上五島、佐世保、長崎、五島は活発である。

表9 在宅高齢者のニーズ把握に向けた自治会や民生委員などとの連携

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
積極的に行っている	21.6%	28.0%	30.8%	11.1%	25.0%	12.5%	0.0%	33.3%	0.0%
やや積極的に行っている	29.7%	36.0%	38.5%	11.1%	12.5%	12.5%	80.0%	33.3%	0.0%
あまり積極的に行っていない	32.4%	24.0%	15.4%	66.7%	37.5%	37.5%	20.0%	33.3%	66.7%
ほとんど行っていない	16.2%	12.0%	15.4%	11.1%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	33.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑧認知症家族の集いの会などへの協力

集いの会などへの協力について、約2割(21.9%)が「積極的」に行っている。圏域ごとに五島、佐世保、県北は活発である。

表10 認知症家族の集いの会などへの協力

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
積極的に行っている	5.5%	8.0%	8.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
やや積極的に行っている	16.4%	12.0%	16.7%	11.1%	25.0%	25.0%	40.0%	0.0%	0.0%
あまり積極的に行っていない	30.1%	32.0%	41.7%	33.3%	37.5%	12.5%	20.0%	0.0%	33.3%
ほとんど行っていない	47.9%	48.0%	33.3%	44.4%	37.5%	62.5%	40.0%	100.0%	66.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑨法人内での地域ケア推進に関わる協議の実施

法人内での協議の実施について、約3割(31.9%)が「積極的」に行っている。圏域ごとに県央、五島、長崎は活発である。

表11 法人内での地域ケア推進に関わる協議の実施

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
積極的に行っている	6.9%	8.0%	16.7%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
やや積極的に行っている	25.0%	32.0%	0.0%	22.2%	37.5%	12.5%	75.0%	0.0%	33.3%
あまり積極的に行っていない	41.7%	40.0%	66.7%	44.4%	37.5%	37.5%	0.0%	66.7%	0.0%
ほとんど行っていない	26.4%	20.0%	16.7%	33.3%	12.5%	50.0%	25.0%	33.3%	66.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑩地域福祉(活動)計画策定における地域ニーズの提言

ニーズの提言について、約2割(20.0%)が「積極的」に行っている。圏域ごとに県央、県北、佐世保は活発である。

表12 地域福祉(活動)計画策定における地域ニーズの提言

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
積極的に行っている	7.1%	0.0%	8.3%	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
やや積極的に行っている	12.9%	8.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	20.0%	33.3%	0.0%
あまり積極的に行っていない	34.3%	36.0%	33.3%	25.0%	37.5%	42.9%	40.0%	33.3%	0.0%
ほとんど行っていない	45.7%	56.0%	33.3%	37.5%	25.0%	57.1%	40.0%	33.3%	100.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

なお、地域ケア会議への参加について約3割(31.9%)が参加している(「参加していない」43.1%、「会議自体が存在しない」25.0%)。圏域ごとに佐世保(61.5%)が活発、他の圏域は2～3割程度の参加である。

表13 地域ケア会議への参加

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
参加している	31.9%	29.2%	61.5%	22.2%	12.5%	25.0%	25.0%	33.3%	33.3%
参加していない	43.1%	37.5%	23.1%	44.4%	75.0%	75.0%	50.0%	0.0%	33.3%
会議自体が存在しない	25.0%	33.3%	15.4%	33.3%	12.5%	0.0%	25.0%	66.7%	33.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

在宅高齢者の個別支援の充実に向けた取り組みは「施設行事の地域開放」7割、「ニーズ把握に向けた自治会や民生委員との協力」5割、「地域への情報提供」「予防活動」4割、「ネットワーク活動への参加」「サロン活動への参加」2～3割、「地域ケア会議への参加」「法人内での地域ケア推進に関わる協議」3割が「積極的」に行っている。これらの割合を高めることは地域包括ケアシステムづくりにおける特養の役割を高めることにつながる。地域ケア会議への参加と協働、法人内協議は今後重要性を増すと考えられる。一方、これらの取り組みは地域差が大きい。後述する地域の特性に合わせた特養の役割というものも求められる。

## (2) 地域、行政、民間と連携することによる特養にとっての効果

表14は特養が地域(地域住民、自治会、民生委員、社協、地域ボランティアなど)、行政(県市町、福祉事務所、保健所、地域包括支援センターなど)、民間(他の施設やサービス事業所、医療機関、居宅介護支援事業所、企業など)と連携することによる特養にとっての効果を①から⑧について「大いにそうである」4点、「ややそうである」3点、「あまりそうではない」2点、「そうではない」1点と得点化したものである。

表14 地域、行政、民間と連携することによる特養にとっての効果

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
地域と連携することにより要介護者の地域での生活を継続的に支援できている	3.11	3.04	3.54	3.00	3.13	2.50	3.60	3.00	3.00
地域と連携することにより潜在している地域ニーズの把握ができている	2.84	2.75	3.00	2.78	2.75	2.75	3.00	3.33	2.67
行政と連携することにより地域高齢者の状況や課題を確認できている	3.10	3.13	3.08	3.11	2.88	2.88	3.20	3.67	3.33
行政と連携することにより困難事例について早目の対応や協力ができている	2.99	2.84	3.42	3.00	2.88	2.75	3.20	3.33	2.67
民間と連携することにより地域高齢者の情報共有ができている	3.30	3.36	3.42	3.22	3.00	3.13	3.40	3.67	3.33
民間と連携することにより利用者にあった適切なサービスを提供できている	3.27	3.20	3.50	3.22	3.00	3.13	3.80	3.67	3.00

### ①地域と連携することによって要介護者の地域での生活を継続的に支援できている。

約8割(83.6%)が肯定的意見(「大いにそうである」と「ややそうである」の合計割合、以下同じ)をもっている。圏域ごとに五島、佐世保、県央は肯定的意見が多い(表14の結果による、以下同じ)。

表15 地域と連携することにより要介護者の地域での生活を継続的に支援できている。

	県	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
大いにそうである	31.5%	29.2%	53.8%	33.3%	25.0%	0.0%	60.0%	33.3%	0.0%
ややそうである	52.1%	50.0%	46.2%	44.4%	62.5%	62.5%	40.0%	33.3%	100.0%
あまりそうではない	12.3%	16.7%	0.0%	11.1%	12.5%	25.0%	0.0%	33.3%	0.0%
そうではない	4.1%	4.2%	0.0%	11.1%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②地域と連携することによって地域ニーズの把握ができています。

約7割(69.9%)が肯定的意見をもっている。圏域ごとに上五島、佐世保、五島は肯定的意見が多い。

表16 地域と連携することによって地域ニーズの把握ができています。

	県	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
大いにそうである	15.1%	12.5%	15.4%	22.2%	12.5%	12.5%	20.0%	33.3%	0.0%
ややそうである	54.8%	54.2%	69.2%	33.3%	50.0%	50.0%	60.0%	66.7%	66.7%
あまりそうではない	28.8%	29.2%	15.4%	44.4%	37.5%	37.5%	20.0%	0.0%	33.3%
そうではない	1.4%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③行政と連携することによって地域高齢者の状況や課題を確認できている。

約8割(83.4%)が肯定的意見をもっている。圏域ごとに上五島、対馬、五島は肯定的意見が多い。

表17 行政と連携することによって地域高齢者の状況や課題を確認できている。

	県	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
大いにそうである	27.8%	37.5%	25.0%	22.2%	12.5%	12.5%	20.0%	66.7%	33.3%
ややそうである	55.6%	41.7%	58.3%	66.7%	62.5%	62.5%	80.0%	33.3%	66.7%
あまりそうではない	15.3%	16.7%	16.7%	11.1%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
そうではない	1.4%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④行政と連携することによって困難事例について早めの対応や協力ができている。

約7割(73.9%)が肯定的意見をもっている。圏域ごとに佐世保、上五島、五島は肯定的意見が多い。

表18 行政と連携することによって困難事例について早めの対応や協力ができている。

	県	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
大いにそうである	26.0%	28.0%	41.7%	22.2%	12.5%	12.5%	20.0%	33.3%	33.3%
ややそうである	47.9%	32.0%	58.3%	55.6%	62.5%	50.0%	80.0%	66.7%	0.0%
あまりそうではない	24.7%	36.0%	0.0%	22.2%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	66.7%
そうではない	1.4%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤民間と連携することによって地域高齢者の情報共有ができています。

約9割(86.3%)が肯定的意見をもっている。圏域ごとに上五島、佐世保、五島は肯定的意見が多い。



表 19 民間と連携することによって地域高齢者の情報共有ができています。

	県	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
大いにそうである	46.6%	52.0%	58.3%	33.3%	37.5%	37.5%	40.0%	66.7%	33.3%
ややそうである	39.7%	36.0%	25.0%	55.6%	25.0%	50.0%	60.0%	33.3%	66.7%
あまりそうではない	11.0%	8.0%	16.7%	11.1%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
そうではない	2.7%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑥民間と連携することによって利用者にあったサービスを提供できている。

約 9 割 (87.6%) が肯定的意見をもっている。五島、上五島、佐世保は肯定的意見が多い。

表 20 民間と連携することによって利用者にあったサービスを提供できている。

	県	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
大いにそうである	39.7%	36.0%	58.3%	33.3%	25.0%	12.5%	80.0%	66.7%	33.3%
ややそうである	47.9%	48.0%	33.3%	55.6%	50.0%	87.5%	20.0%	33.3%	33.3%
あまりそうではない	12.3%	16.0%	8.3%	11.1%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
そうではない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地域、行政、民間との連携について、おおむねどの項目についても肯定的意見が 7～8 割を超え、特養は地域、民間、行政との連携に高い効果を感じている。しかし「大いにそうである」の割合は「地域連携による地域生活の継続支援」31.5%、「地域連携による地域ニーズの把握」15.1%、「行政連携による高齢者の状況・課題の確認」27.8%、「行政連携による困難事例への対応」26.0%、「民間連携による情報共有」46.6%、「民間連携による適切なサービス提供」39.7%で、圏域ごとの違いも大きい。今後、連携の質を高めていくとともに、圏域ごとの対応も必要だと考えられる。

(3) 地域、行政、民間と連携することによる地域・地域高齢者にとっての効果

表 21 は特養が地域、行政、民間と連携することによる地域・地域高齢者にとっての効果を①から⑦について「大いにそうである」4 点、「ややそうである」3 点、「あまりそうではない」2 点、「そうではない」1 点と得点化したものである。

表 21 地域、行政、民間と連携することによる地域・地域高齢者にとっての効果

	県平均	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
地域と連携することにより引きこもりの防止につながっている	2.80	2.60	2.85	2.56	3.13	2.88	2.80	3.67	3.00
地域と連携することにより安否確認につながっている	2.95	2.84	2.92	2.78	3.00	3.13	3.00	3.67	3.00
地域と連携することにより介護予防につながっている	2.82	2.92	2.85	2.78	2.88	2.50	2.50	3.00	3.00
行政と連携することにより社会参加が広がっている	2.81	2.96	2.77	2.78	2.63	2.75	2.80	3.00	2.33
行政と連携することにより早期の問題解決が期待できる	2.93	2.92	3.00	3.00	2.88	2.88	3.20	3.00	2.33
民間と連携することにより生活圏域での生活が継続できている	3.16	3.20	3.54	2.89	2.88	3.25	3.00	3.33	2.67
民間と連携することにより利用者にあったサービスを受けることができている	3.22	3.24	3.54	2.89	3.00	3.25	3.20	3.67	2.67

①地域と連携することによって引きこもりの防止につながっている。

約6割(64.9%)が肯定的意見をもっている。圏域ごとに上五島、県央、対馬は肯定的意見が多い(表21の結果による、以下同じ)。

表22 地域と連携することによって引きこもりの防止につながっている。

	県	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
大いにそうである	20.3%	12.0%	23.1%	22.2%	25.0%	25.0%	0.0%	66.7%	33.3%
ややそうである	44.6%	44.0%	38.5%	33.3%	62.5%	37.5%	80.0%	33.3%	33.3%
あまりそうではない	29.7%	36.0%	38.5%	22.2%	12.5%	37.5%	20.0%	0.0%	33.3%
そうではない	5.4%	8.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②地域と連携することによって安否確認につながっている。

約7割(70.2%)が肯定的意見をもっている。圏域ごとに上五島、県南、県央、五島、対馬は肯定的意見が多い。

表23 地域と連携することによって安否確認につながっている。

	県	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
大いにそうである	32.4%	32.0%	30.8%	33.3%	37.5%	25.0%	20.0%	66.7%	33.3%
ややそうである	37.8%	32.0%	38.5%	22.2%	37.5%	62.5%	60.0%	33.3%	33.3%
あまりそうではない	21.6%	24.0%	23.1%	33.3%	12.5%	12.5%	20.0%	0.0%	33.3%
そうではない	8.1%	12.0%	7.7%	11.1%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③地域と連携することによって介護予防につながっている。

約6割(63.0%)が肯定的意見をもっている。圏域ごとに上五島、対馬、長崎は肯定的意見が多い。

表24 地域と連携することによって介護予防につながっている。

	県	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
大いにそうである	20.5%	24.0%	23.1%	22.2%	25.0%	12.5%	0.0%	33.3%	0.0%
ややそうである	42.5%	44.0%	38.5%	33.3%	50.0%	25.0%	50.0%	33.3%	100.0%
あまりそうではない	35.6%	32.0%	38.5%	44.4%	12.5%	62.5%	50.0%	33.3%	0.0%
そうではない	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④行政と連携することによって社会参加が広がっている。

約7割(69.9%)が肯定的意見をもっている。圏域ごとに上五島、長崎、五島は肯定的意見が多い。

表25 行政と連携することによって社会参加が広がっている。

	県	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
大いにそうである	13.7%	20.0%	7.7%	22.2%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
ややそうである	56.2%	56.0%	69.2%	33.3%	50.0%	50.0%	80.0%	100.0%	33.3%
あまりそうではない	27.4%	24.0%	15.4%	44.4%	25.0%	37.5%	20.0%	0.0%	66.7%
そうではない	2.7%	0.0%	7.7%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤行政と連携することによって早期の問題解決が期待できる。

約7割(74.0%)が肯定的意見をもっている。圏域ごとに五島、佐世保、県北、上五島は肯定的意見が多い。

表 26 行政と連携することによって早期の問題解決が期待できる。

	県	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
大いにそうである	19.2%	16.0%	23.1%	33.3%	12.5%	25.0%	20.0%	0.0%	0.0%
ややそうである	54.8%	60.0%	53.8%	33.3%	62.5%	37.5%	80.0%	100.0%	33.3%
あまりそうではない	26.0%	24.0%	23.1%	33.3%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	66.7%
そうではない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑥民間と連携することによって生活圏域での生活が継続できている。

約9割(86.5%)が肯定的意見をもっている。圏域ごとに佐世保、上五島、県南は肯定的意見が多い。

表 27 民間と連携することによって生活圏域での生活が継続できている。

	県	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
大いにそうである	29.7%	24.0%	69.2%	22.2%	0.0%	37.5%	20.0%	33.3%	0.0%
ややそうである	56.8%	72.0%	15.4%	44.4%	87.5%	50.0%	60.0%	66.7%	66.7%
あまりそうではない	13.5%	4.0%	15.4%	33.3%	12.5%	12.5%	20.0%	0.0%	33.3%
そうではない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦民間と連携することによって利用者にあったサービスを受けることができている。

約9割(89.2%)が肯定的意見をもっている。圏域ごとに上五島、佐世保、県南は肯定的意見が多い。

表 28 民間と連携することによって利用者にあったサービスを受けることができている。

	県	長崎	佐世保	県北	県央	県南	五島	上五島	対馬
大いにそうである	32.4%	28.0%	61.5%	22.2%	25.0%	25.0%	20.0%	66.7%	0.0%
ややそうである	56.8%	68.0%	30.8%	44.4%	50.0%	75.0%	80.0%	33.3%	66.7%
あまりそうではない	10.8%	4.0%	7.7%	33.3%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
そうではない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地域、行政、民間との連携が地域・地域高齢者に及ぼす効果について、特養は地域連携について6～7割、行政連携について7割、民間連携について9割が肯定的意見を持ち、高い効果を感じている。しかし「大いにそうである」の割合は「地域連携により引きこもりの防止につながっている」20.3%、「地域連携により安否確認につながっている」32.4%、「地域連携により介護予防につながっている」20.5%、「行政連携により社会参加が広がっている」13.7%、「行政連携により早期の問題解決が期待できる」19.2%、「民間連携により生活圏域での生活が継続できている」29.7%、「民間連携により利用者にあったサービスを受けることができている」32.4%で、圏域ごとの違いも大きい。連携の質を高めること、さらに、圏域ごとの対応も必要だと考えられる。

#### (4) 圏域ごとの課題

表29は、1段目に高齢者、医療サービス、介護サービスの状況、2段目に在宅高齢者の個別支援充実に向けた特養の取り組み、3段目に地域ケア会議への参加、4段目に連携が特養に及ぼす効果、5段目に連携が地域・地域高齢者に及ぼす効果を、圏域ごとにまとめたものである。

1段目の表について、㉞高齢者の状況については高齢化率、人口に占める後期高齢者の割合、高齢者のいる世帯に占める高齢単身世帯の割合、介護保険認定率、㉟医療サービスの状況については人口10万人あたり病床数（病院）、㊱介護サービスの状況については、1つは、高齢者1千人あたり介護保険3施設の定員数、要支援者・要介護者1人あたり訪問介護利用回数、高齢者1千人あたり介護保険指定サービス事業者数（訪問介護）といった介護給付サービス、2つ目は、高齢者1千人あたり地域密着型施設（認知症グループホームと地域密着型老人福祉施設）の定員数、要介護者1千人あたり小規模多機能居宅介護ののべ利用者人数といった地域密着型サービス、3つ目は、要支援者1千人あたり介護予防訪問介護ののべ利用者人数といった予防給付サービスを指標としている。また、1段目各項目下段の数値は長崎県を1とした時の割合を示す。

2～5段目の表は、これまでの、特養の在宅高齢者の個別支援充実に向けた取り組み（2段目）、地域ケア会議への参加（3段目）、特養が地域、行政、民間と連携することによる特養にとっての効果（4段目）、特養が地域、行政、民間と連携することによる地域・地域高齢者にとっての効果（5段目）をまとめたものである。

表29 圏域の特徴

		県平均	長崎圏域	佐世保圏域	県北圏域	県央圏域	県南圏域	五島圏域	上五島圏域	杬岐圏域	対馬圏域
高齢者の状況	高齢化率	27.7	26.4	27.3	32.0	24.5	31.7	35.0	36.7	33.9	31.7
		1.00	0.95	0.99	1.16	0.88	1.14	1.26	1.32	1.22	1.14
	人口に占める後期高齢者の割合	15.0	13.9	14.5	18.2	12.7	18.4	20.8	21.5	19.6	17.7
		1.00	0.93	0.97	1.21	0.85	1.23	1.39	1.43	1.31	1.18
	高齢者のいる世帯に占める高齢単身世帯の割合	31.9	32.6	33.2		26.6	26.5	42.1	38.6	32.3	33.9
		1.00	1.02	1.04		0.83	0.83	1.32	1.21	1.01	1.06
	介護保険認定率	22.5	23.6	22.7	20.8	18.1	24.4	24.6	21.4	22.4	25.1
		1.00	1.05	1.01	0.92	0.80	1.08	1.09	0.95	1.00	1.12
医療サービスの状況	人口10万人あたり病床数（病院）	1925.6	2134.5	1881.3	1515.3	2107.0	1566.2	1378.6	987.0	1933.5	1226.5
		1.00	1.11	0.98	0.79	1.09	0.81	0.72	0.51	1.00	0.64
介護サービスの状況	介護保険サービス	高齢者1千人あたり介護保険3施設の定員数	32.1	28.8	35.4		27.1	34.7	40.4	46.2	37.9
			1.00	0.90	1.10		0.84	1.08	1.26	1.44	1.18
		要介護者1人あたり訪問介護利用回数	27.8	34.6	20.4		34.1	11.3	45.0	13.4	47.4
			1.00	1.24	0.73		1.23	0.41	1.62	0.48	1.71
		高齢者1千人あたり介護保険指定サービス事業者数（訪問介護）	1.1	1.3	0.8	0.9	1.2	0.7	1.9	1.1	0.7
			1.00	1.18	0.76	0.81	1.05	0.65	1.68	0.95	0.67
	介護保険地域密着型サービス	高齢者1千人あたり地域密着型サービス（認知症グループホームと地域密着型介護老人福祉施設）の定員数	14.5	12.7	15.1		35.5	16.7	6.8	8.0	2.1
			1.00	0.88	1.04		2.45	1.15	0.47	0.55	0.14
		要介護者1千人あたり小規模多機能型居宅介護ののべ利用者人数	151.4	95.8	360.4		107.2	28.4	0.0	421.2	0.0
			1.00	0.63	2.38		0.71	0.19	0.00	2.78	0.00

在宅高齢者の個別支援における特別養護老人ホームの役割と課題に関する基礎的研究

介護保険 予防サ ービス	要支援者1千人あたり介護 予防訪問介護のべ利用者 人数	3342.4	4424.0	2998.1	2643.6	1613.6	4854.8	2757.0	2263.7	1421.4
		1.00	1.32	0.90	0.79	0.48	1.45	0.82	0.68	0.43

	県平均	長崎圏域	佐世保圏域	県北圏域	県央圏域	県南圏域	五島圏域	上五島圏域	杵岐圏域	対馬圏域
施設行事の地域開放	2.97	3.17	3.17	2.78	2.75	2.50	3.00	3.67		2.33
地域への情報提供	2.38	2.44	2.92	2.00	2.38	1.88	2.60	2.67		1.67
予防活動の実施や協力	2.26	2.32	2.54	1.89	2.13	2.00	2.80	2.33		1.67
見守りネットワーク活動への参加や協力	1.97	2.36	2.00	1.67	1.63	1.50	2.00	2.00		1.67
サロンなどへの参加や協力	1.79	2.20	1.54	1.67	1.88	1.38	1.50	2.00		1.00
配食サービスの実施や協力	1.82	1.96	1.69	1.56	2.00	1.25	3.00	1.00		2.00
ニーズ把握に向けた自治会や民生委員などとの連携	2.57	2.80	2.85	2.22	2.38	2.00	2.80	3.00		1.67
家族の集いの会などへの協力	1.79	1.80	2.00	1.89	1.88	1.63	2.00	1.00		1.33
法人内での地域ケア推進に関わる協議の実施	2.13	2.28	2.17	1.89	2.50	1.63	2.50	1.67		1.67
地域福祉（活動）計画策定における地域ニーズの提言	1.81	1.52	2.08	2.13	2.50	1.43	1.80	2.00		1.00

	県平均	長崎圏域	佐世保圏域	県北圏域	県央圏域	県南圏域	五島圏域	上五島圏域	杵岐圏域	対馬圏域
地域ケア会議への参加	31.9%	29.2%	61.5%	22.2%	12.5%	25.0%	25.0%	33.3%		33.3%

	県平均	長崎圏域	佐世保圏域	県北圏域	県央圏域	県南圏域	五島圏域	上五島圏域	杵岐圏域	対馬圏域
地域連携によって要介護者の地域生活を継続的に支援できている	3.11	3.04	3.54	3.00	3.13	2.50	3.60	3.00		3.00
地域連携によってボランティアの掘り起こしができている	2.51	2.67	2.31	2.67	2.75	2.00	2.50	2.67		2.33
地域連携によって地域ニーズの把握ができている	2.84	2.75	3.00	2.78	2.75	2.75	3.00	3.33		2.67
行政連携によって地域高齢者の状況や課題を認識できている	3.10	3.13	3.08	3.11	2.88	2.88	3.20	3.67		3.33
行政連携によって困難事例について早めの対応や協力ができている	2.99	2.84	3.42	3.00	2.88	2.75	3.20	3.33		2.67
民間連携によって地域高齢者の情報共有ができている	3.30	3.36	3.42	3.22	3.00	3.13	3.40	3.67		3.33
民間連携によって利用者にあったサービスが提供できている	3.27	3.20	3.50	3.22	3.00	3.13	3.80	3.67		3.00

	県平均	長崎圏域	佐世保圏域	県北圏域	県央圏域	県南圏域	五島圏域	上五島圏域	杵岐圏域	対馬圏域
地域連携によって引きこもりの防止につながっている	2.80	2.60	2.85	2.56	3.13	2.88	2.80	3.67		3.00
地域連携によって身近な施設として利用しやすくなっている	3.32	3.36	3.46	3.22	3.25	3.13	3.20	3.67		3.33
地域連携によって安否確認につながっている	2.95	2.84	2.92	2.78	3.00	3.13	3.00	3.67		3.00
地域連携によって介護予防につながっている	2.82	2.92	2.85	2.78	2.88	2.50	2.50	3.00		3.00
行政連携によって社会参加が広がっている	2.81	2.96	2.77	2.78	2.63	2.75	2.80	3.00		2.33
民間連携によって生活圏域での生活が継続できている	3.16	3.20	3.54	2.89	2.88	3.25	3.00	3.33		2.67
民間連携によって利用者にあったサービスを受けることができている	3.22	3.24	3.54	2.89	3.00	3.25	3.20	3.67		2.67

注）高齢化率、人口に占める後期高齢者の割合は平成25年10月現在。高齢者のいる世帯に占める高齢単身世帯の割合は平成22年『国勢調査』。介護保険認定率は平成25年9月現在。人口10万人あたり病床数は平成22年長崎県『医療施設調査』。介護サービスの状況については『長崎県老人福祉計画・長崎県介護保険事業支援計画（平成24年度～平成26年度）』。

これらの整理により各圏域の特徴、課題は以下のとおりである。なお、下記①～⑨において「やや多い（高い）」「やや少ない（低い）」は県と比較して±10%、「多い（高い）」「少ない（低い）」は県比±20%、「大変多い（高い）」「大変少ない（低い）」は県比±30%以上であることを示す。

#### ①長崎圏域

高齢化率、認定率は平均的である。訪問介護（多い）は事業者数（多い）とともに多いが、3施設（やや少ない）、在宅・施設の中間機能を果たす地域密着型施設（やや少ない）と小規模多機能居宅介護（大変少ない）は少ない。そのような中で、特養は見守りネットワーク活動、サロン参加、ニーズ把握に向けた自治会・民生委員との連携などを活発に行っている。しかし、連携が困難事例への対応や引きこもりの防止、安否確認などに十分な効果を挙げているとはまだ考えられていない。

#### ②佐世保圏域

高齢化率、認定率は平均的である。3施設（やや多い）と小規模多機能居宅介護（大変多い）は多いが、訪問介護（大変少ない）は事業者数（少ない）とともに少ない。そのような中で、特養は情報提供、予防活動、ニーズ把握に向けた自治会・民生委員との連携などを活発に行い、地域ケア会議への参加も突出して多い。とりわけ民間連携は活発で、民間連携は地域・地域高齢者にとっても大きな効果を挙げていると考えられている。

#### ③県北圏域

高齢化率（高い）、後期高齢者の割合（高い）は高いが、認定率は低い（やや低い）。3施設（やや多い）と小規模多機能居宅介護（大変多い）は多いが、病床数（少ない）、さらに訪問介護（大変少ない）は事業者数（少ない）とともに少ない。そのような中で、特養は情報提供、見守りネットワーク活動、ニーズ把握に向けた自治会・民生委員との連携などがやや不活発である。連携についても連携（とりわけ地域連携と民間連携）が引きこもりの防止や安否確認、利用者にあったサービス提供などに十分な効果を挙げているとはまだ考えられていない。

#### ④県央圏域

高齢化率（やや低い）、認定率（低い）は低い。訪問介護（多い）と地域密着型施設（大変多い）は多いが、3施設（少ない）と小規模多機能型居宅介護（大変少ない）は少ない。そのような中で、特養はサロン参加、配食サービス、法人内での地域ケア推進に関わる協議、地域ニーズの提言などを活発に行っている。しかし、連携について連携（とりわけ行政連携と民間連携）が地域高齢者の状況・課題の確認や情報共有、利用者にあったサービスの提供などに十分な効果を挙げているとはまだ考えられていない。

#### ⑤県南圏域

高齢化率（高い）、認定率（やや高い）は高い。3施設（やや多い）と地域密着型施設（多い）は多いが、病床数（少ない）、さらに訪問介護（大変少ない）は事業者数（大変少ない）とともに少ない。そのような中で、特養は施設行事の地域開放、見守りネットワーク活動、ニーズ把握に向けた自治会・民生委員との連携などがやや不活発である。連携についても連携（とりわけ地域連携と行政連携）が地域高齢者の状況・課題の確認、困難事例への対応、情報共有などに十分な効果を挙げているとはまだ考えられていない。

#### ⑥五島圏域

高齢化率（大変高い）、後期高齢者の割合（大変高い）が高く、認定率も高い（やや高い）。病床数（大変少ない）は少なく、3施設の定員数（大変多い）は多い。訪問介護（大変多い）は事業者数（大変多い）とともに多いが、地域密着型施設（大変少ない）と小規模多機能居宅介護（大変少ない）は少ない。

そのような中で、特養は情報提供、予防活動、配食サービス、ニーズ把握に向けた自治会・民生委員との連携などを活発に行っている。しかし、連携について特養にとっての連携の効果は多く感じているものの、地域・地域高齢者にとっての効果は前者ほど多くは感じていない。

#### ⑦上五島圏域

高齢化率（大変高い）、後期高齢者の割合（大変高い）は高いが、認定率（やや低い）は低い。病床数（大変少ない）は少なく、3施設の定員数（大変多い）は多い。訪問介護（大変少ない）は事業者数（やや少ない）とともに少なく、地域密着型施設（大変少ない）も少ない。そのような中で、特養は施設行事の地域開放、情報提供、ニーズ把握に向けた自治会・民生委員との連携などを活発に行い、特養にとっての効果、地域・地域高齢者にとっての効果も多く感じている。

#### ⑧壱岐圏域

高齢化率（高い）、後期高齢者の割合（大変高い）は高いが、認定率は平均的である。病床数は平均的、3施設の定員数（大変多い）は多い。訪問介護（大変多い）は多いが、地域密着型施設（大変少ない）と小規模多機能型居宅介護（大変少ない）は少ない。

#### ⑨対馬圏域

高齢化率（やや高い）、後期高齢者の割合（高い）は高く、認定率（やや高い）は高い。病床数（大変少ない）は少なく3施設の定員数（多い）は多いが、訪問介護（大変少ない）は事業者数（大変少ない）とともに少なく、地域密着型施設（大変少ない）と小規模多機能型居宅介護（大変少ない）も少ない。そのような中で、特養は施設行事の地域開放、予防活動、ニーズ把握に向けた自治会・民生委員との連携などがやや不活発である。連携についても連携（とりわけ行政連携と民間連携）が地域高齢者の早期問題解決、生活圏域での生活の継続、利用者にあったサービスの提供などに十分な効果を挙げているとはまだ考えられていない。

### IV. 考察・まとめ

これまでみてきたように圏域ごとの違いは大きい。サービスに関して県との比率でみると、病床数 0.51 ～ 1.11、3施設の定員数 0.84 ～ 1.44、訪問介護利用回数 0.38 ～ 1.71、地域密着型施設定員数 0.14 ～ 2.45、小規模多機能型居宅介護 0.00 ～ 2.78 という開きがある。たとえば病床数、訪問介護利用回数、地域密着型サービスが少ない県南や対馬の特養はより大きな役割を期待されることが考えられる。また、3施設の定員数は多いが病床数が少ない県北、五島、上五島の特養は医療との連携が課題となるであろう。いずれにしても在宅サービスの整備が不十分な圏域（佐世保、県北、県南、上五島、対馬）では在宅高齢者の個別支援の充実に向けた特養の役割も大きい。

また、特養の在宅高齢者の個別支援充実に向けた取り組み、連携の効果に対する評価も圏域ごとの違いが大きい。佐世保、五島、上五島の特養は全体的に取り組みが活発で、連携の効果も多く感じている。一方、県北、県南、対馬の特養は取り組みがやや不活発で、連携の効果もやや少なく感じている。県北、県南、対馬は高齢化率が高く、在宅サービスの整備が不十分な地域で、今後、特養が地域に果たす役割はより重要だと考えられる。国が求める地域包括ケアシステム、その中心的課題である在宅高齢者の個別支援の充実に特養はどのような役割を果たすのか。社会福祉法人として、また地域の法人として地域ケア会議に積極的に参加し（現状では 31.9%の参加）、個別支援の充実、連携の強化を図る場として地域ケア会議を積極的にとらえる視点が必要ではないだろうか。

一方、実際の支援活動においては人口減少や機関の点在化、医師・看護師不足といった構造的な問題、活動を展開するための人材確保という施設経営に関わる問題、いわば根本的な問題がある。

これらの現状や問題に一法人・施設だけで対応することは困難である。地域ケア会議はこれらへの対応を広域的に協議する場でもあり、地域ケア会議自体の一層の充実が望まれる。地域ケア会議は市町村または地域包括支援センターの主催により行われ、長崎県では地域包括支援センターの業務を 16 市町が市町直営、6 市町が法人に委託して実施し（諫早市は直営と委託を併行）、委託先は医療法人、社会福祉法人など多様である。法人に委託する効果を見定めながら圏域ごと地域ごとにどのようなシステムを形成するのか行政の果たす役割も大きい。

#### 参考文献

- ・永田祐『住民と創る地域包括ケアシステム 名張式自治とケアをつなぐ総合相談の展開』ミネルヴァ書房、2013 年。
- ・筒井孝子「日本の地域包括ケアシステムにおけるサービス提供の考え方ー自助・互助・共助の役割分担と生活支援サービスのありかた」『季刊社会保障研究 47 (4)』、2012 年。
- ・太田貞司編集『地域包括ケアシステム その考え方と課題』光生館、2011 年。
- ・西村周三監修『地域包括ケアシステム 「住み慣れた地域で老いる」社会をめざして』国立社会保障・人口問題研究所、2013 年。
- ・白澤正和『地域のネットワークづくりの方法 地域包括ケアの具体的な展開』中央法規、2013 年。